

推薦



社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合（『応用編 視覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮』のみ）

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（『応用編 聴覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮』のみ）

特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム



公共・民間  
事業者向け  
約 19 分

### 応用編

## 肢体不自由の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮

指導 元 東洋大学 教授 / アクセシビリティ研究所 主宰 川内 美彦

合理的配慮は難しいことでも大変なことでもありません。その人がそこでやりたいことを実現するために、できることをできる範囲でサポートすることです。そのための入り口はコミュニケーションです。

DPI日本会議 事務局長

佐藤 聡

環境整備と合理的配慮はどういうものか、なぜ必要かということがよく理解できました。また、バリアフリーに取り組んでいる商店街やお店も紹介しており、とても参考になりました。



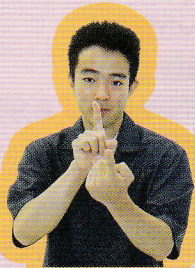
公共・民間  
事業者向け  
約 20 分

### 応用編

## 視覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮

指導 おおごだ法律事務所 代表弁護士 / 国家資格キャリアコンサルタント 大胡田 誠

このDVDを見ると、合理的配慮とは、お互いを大切に思う心のことなんだとわかります。合理的配慮を考えることは、何かを新しく変えることではなく、古き良き日本を再発見する取り組みなのかもしれませんね。



公共・民間  
事業者向け  
約 19 分

### 応用編

## 聴覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮

指導 国立大学法人 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授 大杉 豊

法制度の整備と社会意識の変化により、どこまで進んでいるのか、そして私たちがさらに工夫すべき点は何であるかを「合理的配慮」のテーマでわかりやすく伝える内容になっていると思います。大学生にも視聴いただきたいですし、障害当事者にも見ていただくことで、これから先に広がる共生社会のあり方を考える機会が増えることでしょうか。



監修・アドバイザー 国連アジア太平洋経済社会委員会 社会課題担当官 秋山 愛子

合理的配慮？義務化？何ソレ？と感じられる方々は多いと思います。

この作品は、その質問に答えるだけでなく、どのようにしたら実践できるか、その具体的な方法を丁寧に教えてくれます。

私は、国連障害者権利条約の草案作り、SDGsに障害者の視点を反映させる努力などをしながら、世界中の障害者と友達になり、その交流を通して人生が豊かになったと感じています。

こうした中で障害者権利条約が、「合理的配慮を提供しないこと、それが障害者差別」と明記したことは、私にとっても大きな喜びでした。「これで友達が悔しい思いをしなくて済むようになる道が開けた！」と心の中で叫びました！

日本でも令和3年5月「障害者差別解消法」の一部が改正・可決され、「合理的配慮」の法的義務は国や自治体のみだけでなく、今後は企業においても「合理的配慮」を法的義務として提供することが求められるようになりました。このことで障害者は積極的に人生を楽しみ、どんどん社会経済活動に参画していき、社会に貢献し、より公平・公正な世の中ができること信じています。この作品シリーズは、合理的配慮を実践する上で最適な教材となっています。



社会教育DVD  
公共・民間  
事業者向け

# 合理的配慮の 「提供義務」シリーズ

推薦

公益財団法人 日本財団  
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会  
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合会  
『応用編 視覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮』のみ  
一般社団法人  
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会  
『応用編 聴覚障害の方の話を聞き・学ぶ 合理的配慮』のみ  
特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム

企画  
意図

2016年に「障害者差別解消法」が施行され、その対応指針が福祉事業者向けに策定されました。2021年にはその法改正が行われ、障害者への「合理的配慮」が、これまでの公的機関だけでなく、各事業者にも義務化されました。

“障害者も含めた多様な人々に対応できない社会のあり方こそが、障害なのだ”という新しい考え方が広まる中で、さらに周知が求められるのが「合理的配慮」です。

「応用編」3作品では、「肢体不自由の方」「視覚障害の方」「聴覚障害の方」への合理的配慮に焦点を当て、その対応のあり方について考え、取り組むべき方法等を示していきます。

障害のある当事者、事業者の立場の声を軸におき、合理的配慮をする側・される側が当たり前共存していく社会の必要性を、強く訴えます。

監修

国連アジア太平洋経済社会委員会 社会課題担当官 秋山 愛子

指導

元 東洋大学 教授  
/アクセシビリティ研究所主宰 川内 美彦  
DPI日本会議 事務局長 佐藤 聡

指導

おおひだ法律事務所 代表弁護士  
/国家資格キャリアコンサルタント  
大胡田 誠

指導

国立大学法人 筑波技術大学  
/障害者高等教育研究支援センター 教授  
大杉 豊

応用編

約 19 分

## 肢体不自由の方の 話を聞き・学ぶ 合理的配慮

応用編

約 20 分

## 視覚障害の方の 話を聞き・学ぶ 合理的配慮

応用編

約 19 分

## 聴覚障害の方の 話を聞き・学ぶ 合理的配慮

作品  
の概要

- 移動と交通利用
- 車椅子介助のポイント
- 個人商店でのポイント
- 商業施設でのポイント
- 飲食店でのポイント
- どんなときに声をかける？

作品  
の概要

- 視覚障害者のバリアと合理的配慮
- 盲導犬
- 医療機関でのポイント
- 商業施設でのポイント
- 飲食店でのポイント
- タクシー・宿泊施設
- 正しい介助

作品  
の概要

- 聴覚障害者の困難さ
- 医療機関でのポイント
- 商業施設でのろう者への対応
- 正しい筆談の方法
- 不便や不安を解消する方法
- 今後検討すべき課題

価格

ライブラリー価格 本体 ¥68,000  
(税込 ¥74,800)

価格

ライブラリー価格 本体 ¥68,000  
(税込 ¥74,800)

価格

ライブラリー価格 本体 ¥68,000  
(税込 ¥74,800)

スタッフ

企画・制作統括	高木 裕己	撮影	照屋 真治
プロデューサー	堤 謙一		岡部 文彦
脚本・演出	細見 吉夫	制作	北西洋一
コーディネーター	佐藤 恵里	C G	正者 章子
アドバイザー(出演)	石川 明代		

制作・著作/株式会社 映学社

■DVD [カラー]

- ※【字幕+手話版】同時収録
- ※ 全編につけられる音声ガイド付き

■2023年・映学社作品

○ 株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者等の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。

○ 本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧下さい。なおDVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。詳しい再生上の取扱いについては、ご使用になるプレイヤー、テレビなどの取扱説明書をご覧ください。

●お問い合わせ、お買い上げは……

 株式会社 映学社  
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル  
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024  
info@eigakusya.co.jp  
https://www.eigakusya.co.jp/

北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央3-32-3  
TEL:049-298-5792 FAX:049-298-5793  
E-mail: co@hokushineizo.com